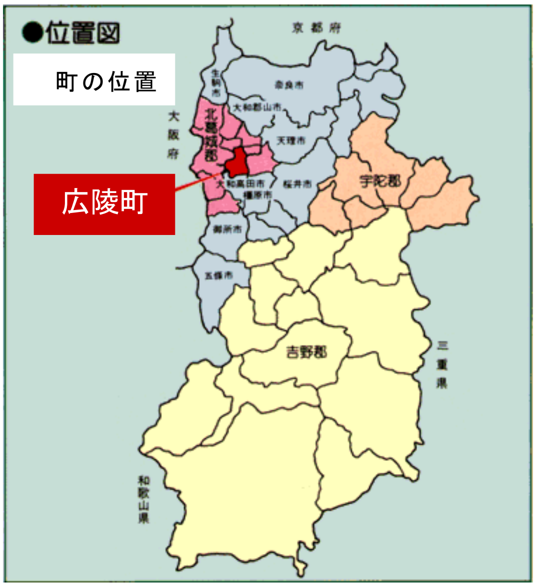
第１章　広陵町の現状

１－１　広陵町の概況

（１）広陵町の位置

本町は、大和平野の中西部に位置し、南を香芝市、大和高田市、橿原市、その他を北葛城郡河合町、上牧町、磯城郡三宅町、田原本町とそれぞれ接しています。

奈良県の中心都市である奈良市へ直線距離約 20km、近畿圏の中核都市である大阪市へは、約 30km の距離にあります。



（２）地形

町域は、南北最長 5.5km、東西最長 4.5km におよび、行政面積は 16.30ｋ㎡のほぼ平坦な地形であり、一級河川の高田川と葛城川に囲まれ、箸尾駅を中心として発展してきた北部地域、地元の靴下産業が息づく西部地域、のどかな田園風景が広がる東部地域、閑静な住宅街が広がる真美ヶ丘地域と大きく４つに分かれています。

（３）沿革

本町の歴史はきわめて古く、馬見丘陵一帯では 3,000 年程前から人々が集落を形成していたことが知られており、2,000 年程前の弥生時代からは弥生式土器をはじめ、多くの遺物が百済遺跡およびその周辺などで発見されています。

以後、農耕を中心とした村落が発展、村々の対立が起こるなか、大和朝廷の国家統一の頃には豪族葛城氏が台頭し、そのもとで奈良時代の繁栄をとげていました。

戦国時代の終焉とともに、租税制度が厳しくなったこともあり、本町は大和木綿、なたね、たばこ、茶等の自然条件を活かした特産品の生産により栄え、南郷池の築造など大規模な農業用水の確保・整備が行われました。

明治後半からは、靴下・織布等の製造が栄えはじめ、大正７年には町北部に大和鉄道（現・近畿日本鉄道）が敷設され、箸尾駅が設けられました。

昭和 30 年、馬見町・瀬南村・百済村が合併し、広陵町を発足。翌昭和 31 年、箸尾町の編入（一部は昭和 32 年、大和高田市に編入）により、現在の広陵町となりました。以後靴下・織布などを地場産業として、また「夏秋なす」等の特産品を持つ農業のさかんな町として栄えてきました。一方、大都市圏からの市街化の波により、昭和 49 年から真美ヶ丘ニュータウンの開発を進めるなど、住宅都市としての一面も持つようになっています。

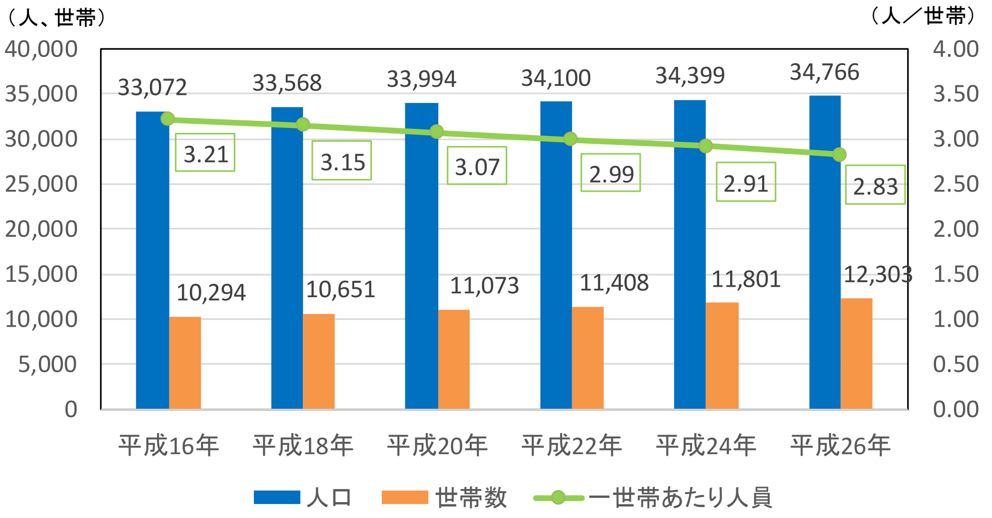
１－２　人口・世帯の動向

（１）総人口・世帯数の推移

住民基本台帳（各年８月末）によると、平成 26 年における人口は 34,766 人、世帯数は 12,303 世帯、一世帯あたり人員は 2.83 人となっています。

人口および世帯数は、年々増加の状態が続き、奈良県のなかで最も人口が多い町となっています。（平成 26 年 9 月 1 日現在）。

図．人口・世帯数の推移



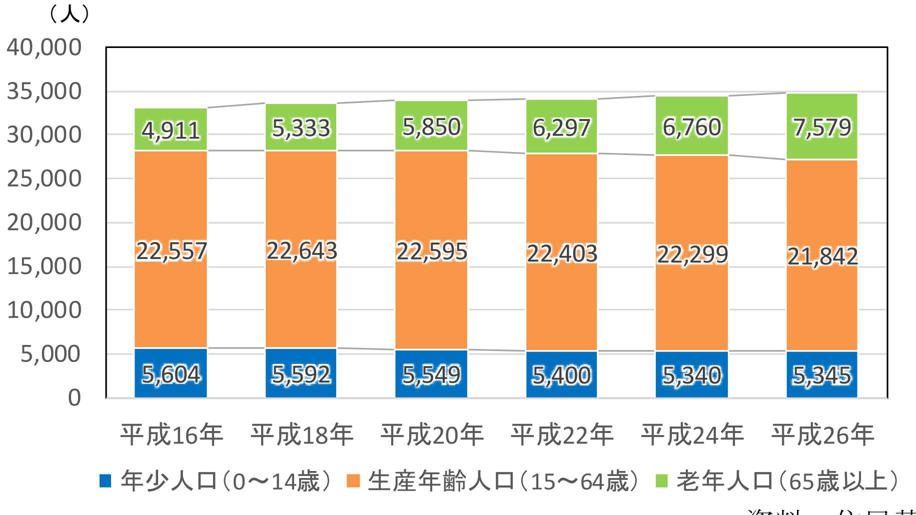
資料：住民基本台帳

（２）年齢別人口の推移

住民基本台帳（各年 8 月末）によると、平成 26 年における年少人口は 5,345 人（15.4％）、生産年齢人口は 21,842 人（62.8％）、老年人口は 7,579 人（21.8％）となっています。

構成比でみると、年少人口と生産年齢人口は減少傾向、老年人口は増加傾向にあり、少子高齢化が進行しています。

図．年齢３区分別人口の推移



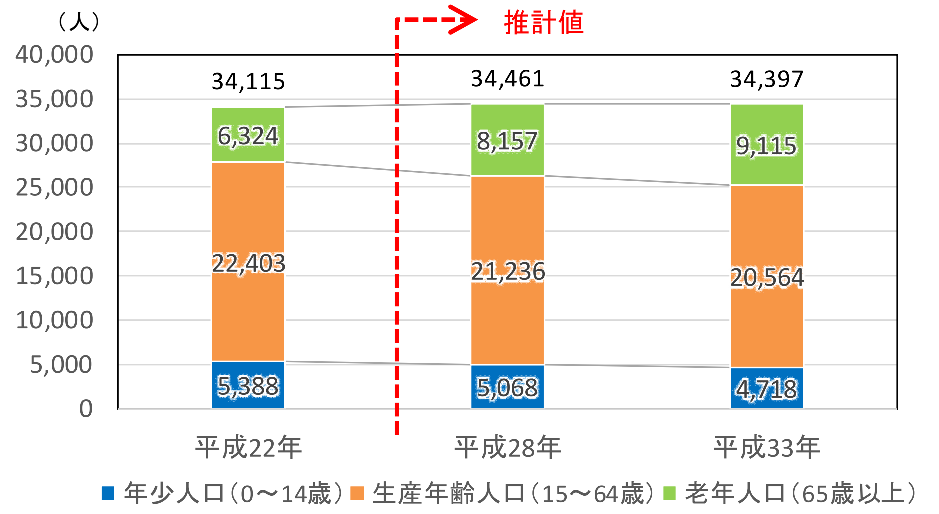
資料：住民基本台帳

（３）人口・世帯数の推計

人口推計によると、総人口は平成 28 年までは増加し、その後、平成 33 年には減少しています。年少人口および生産年齢人口は、平成 22 年より減少していますが、老年人口は大幅に増加しています。平成 33 年の老年人口は、9, 115 人（26. 5%）となっています。

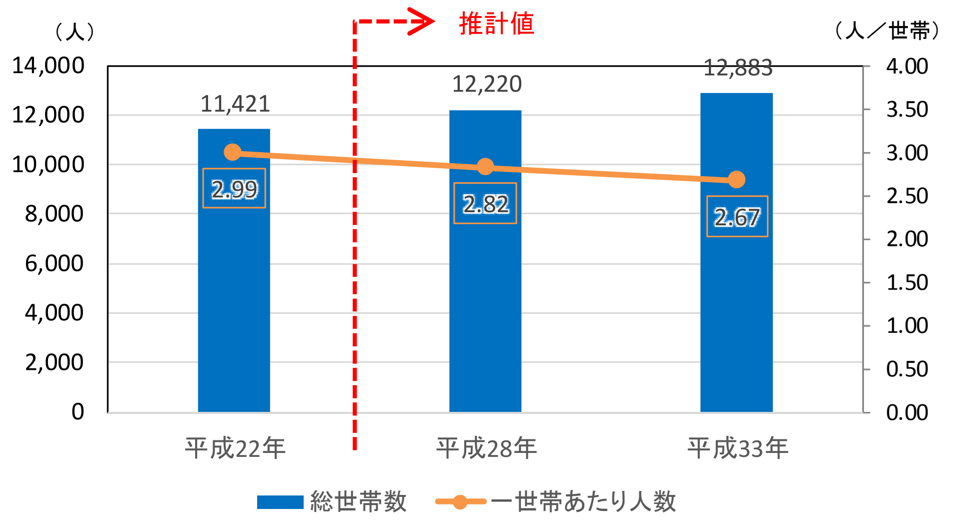
世帯数は、平成 33 年まで増加していく見込みですが、一世帯あたり人数は減少しています。

図．総人口・年齢３区分別人口の推計



資料：第４次広陵町総合計画（町調査人口）

図．世帯数の推計



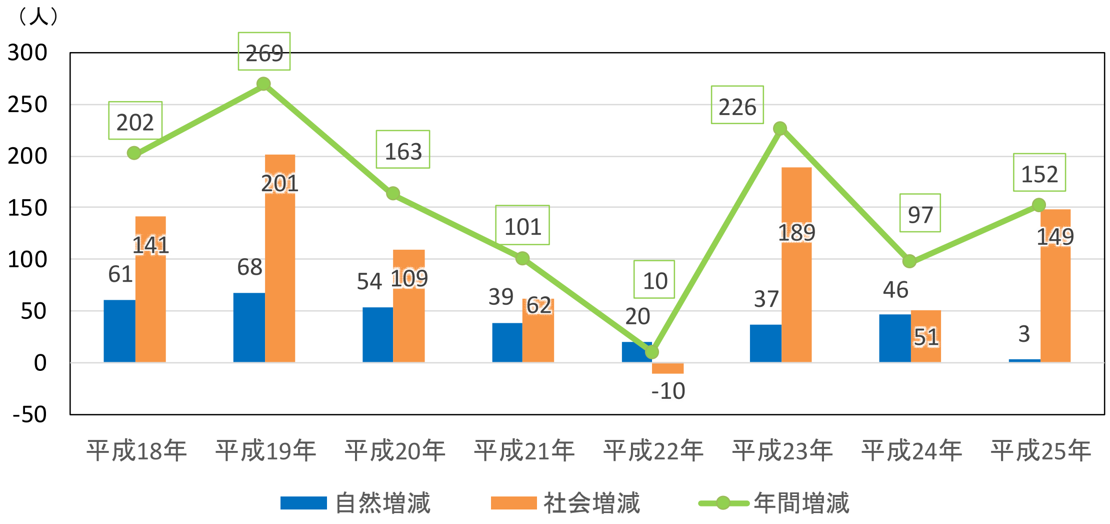
資料：第４次広陵町総合計画（町調査人口）

（４）人口動態

自然動態は、各年とも出生数が死亡者数を上回っています。

社会動態は、平成 22 年以外は転入が転出を上回る状況が見られ、平成 25 年には約 150 人規模の増加が見られます。

図．人口動態（各年 10 月１日時点）

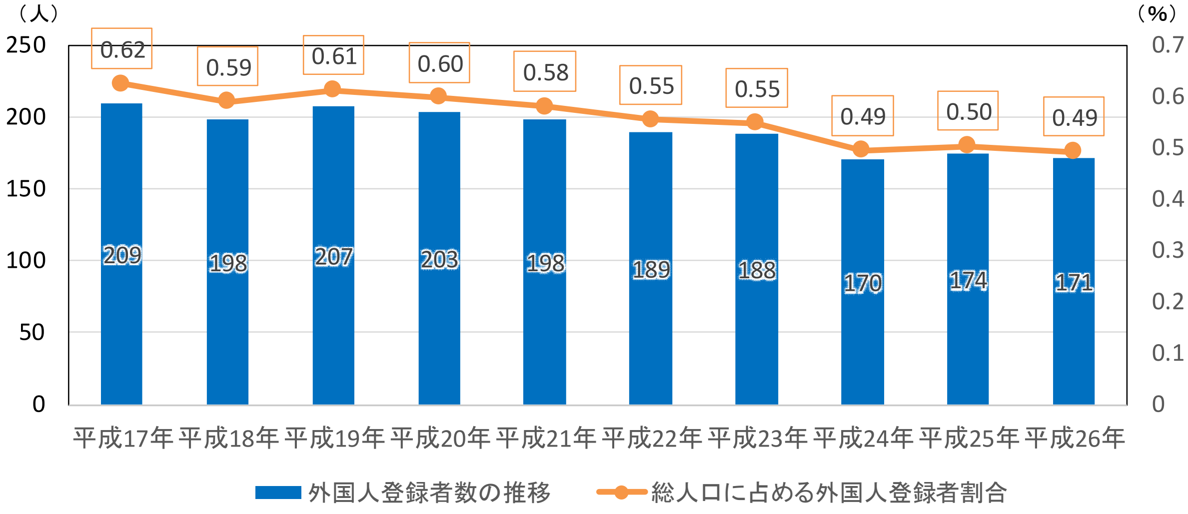


資料：奈良県統計課

（５）外国人登録者数

外国人登録者数は近年減少傾向にあり、平成 26 年 8 月末時点で 171 人、総人口に占める割合は 0.49％となっています。

図．外国人登録者数の推移



資料：広陵町統計資料

（６）通勤・通学による流出・流入人口

国勢調査によると、平成22年における流出人口は12,326人、流入人口は5,603人で、6,723人の流出超過になっています。

市町別にみると、大阪市、香芝市、橿原市、大和高田市などへの流動人口が多くなっています。

表．流出流入人口（15歳以上通勤・通学者の計）

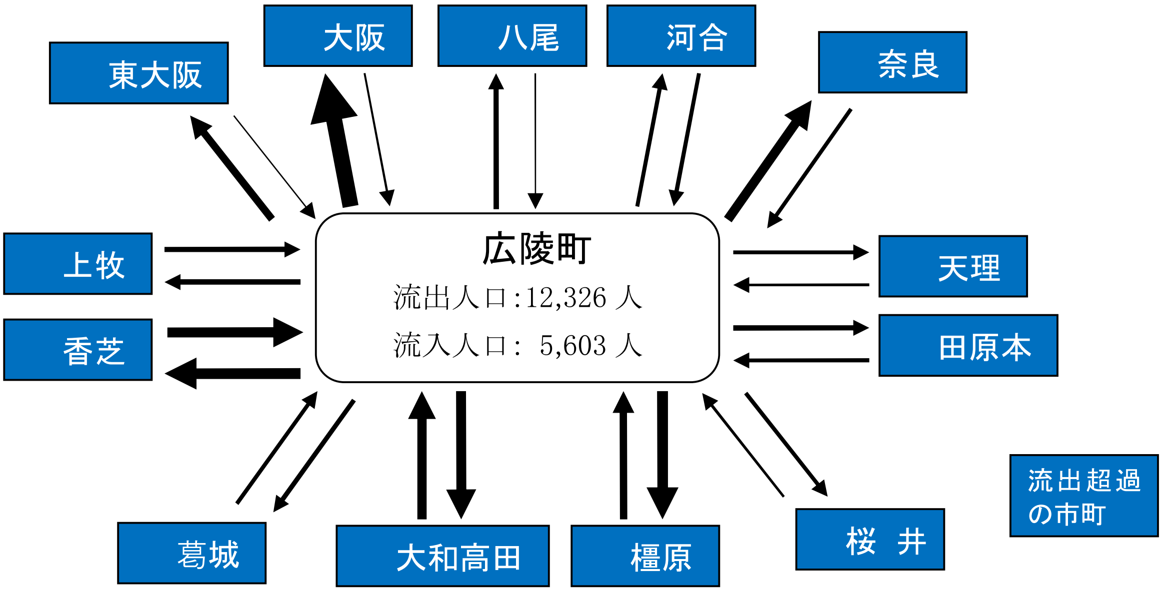
	流出人口	流入人口	昼夜間人口比
	総数	総数	率
平成12年	11,150	4,324	0.78
平成17年	11,850	4,925	0.79
平成22年	12,326	5,603	0.81

平成22年

上位10位市町	流出人口	上位10位市町	流入人口
大阪市	2,854	香芝市	886
香芝市	914	大和高田市	834
橿原市	909	橿原市	548
大和高田市	880	奈良市	272
奈良市	757	上牧町	266
大和郡山市	557	田原本町	233
東大阪市	452	葛城市	221
田原本町	332	河合町	206
八尾市	300	桜井市	170
上牧町	279	大和郡山市	166

資料：国勢調査

図．市町別流出流入の状況（15歳以上通勤・通学者）《平成22年》



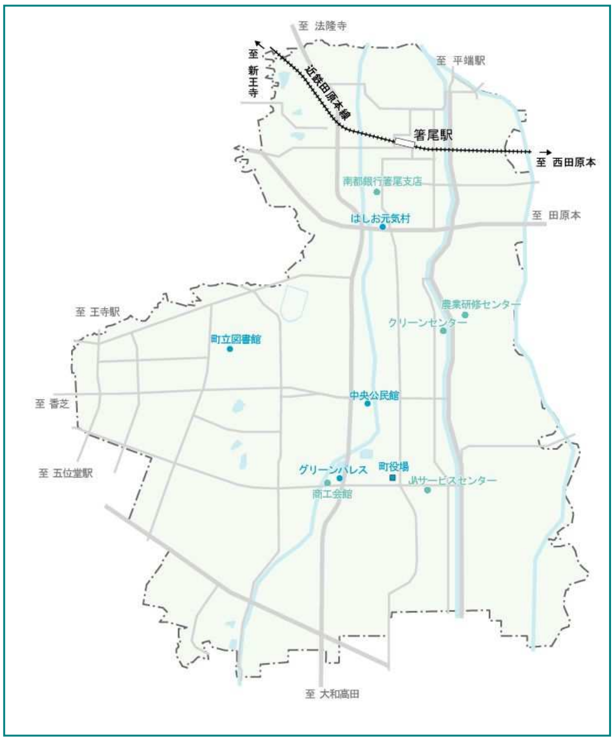
資料：国勢調査

１－３　主な施設の状況

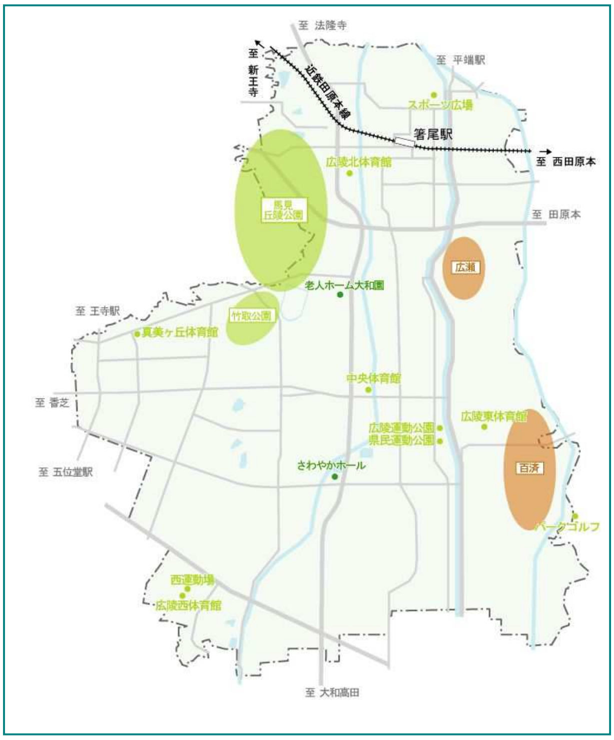
本町の主な施設として、町役場、公民館、図書館、町民活動拠点施設、福祉・高齢者施設、文化・スポーツ施設、小中学校、学習等供用施設、主要業務施設、主要商業施設の状況をみると、幹線道路沿いに多く施設が立地しています。

図．町内の主な施設

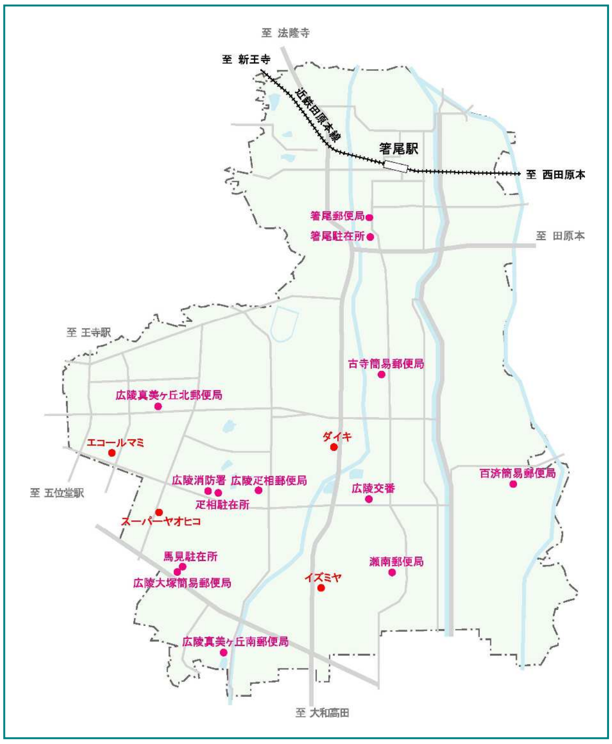
役場・公民館・町民活動拠点施設・主要業務施設等



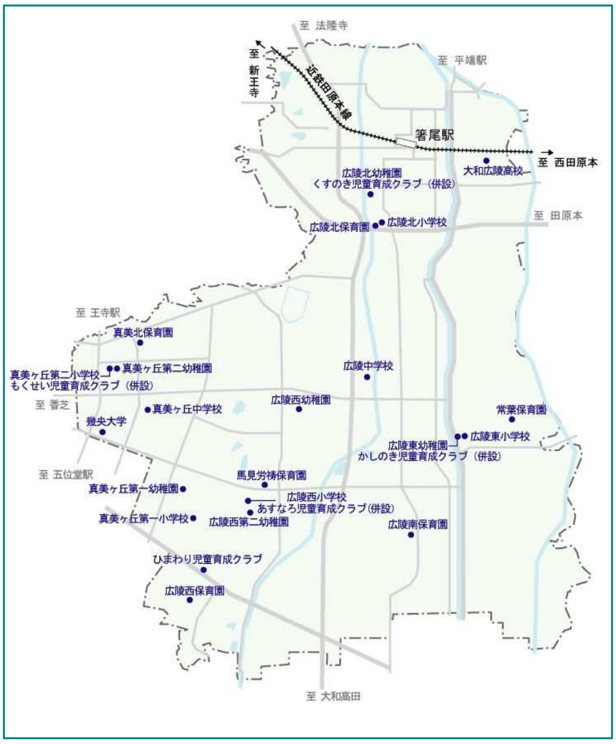
文化・スポーツ・福祉・高齢者施設



交番・消防署・郵便局・主要商業施設



小中学校・学習等供用施設



１－４　公共交通の現状

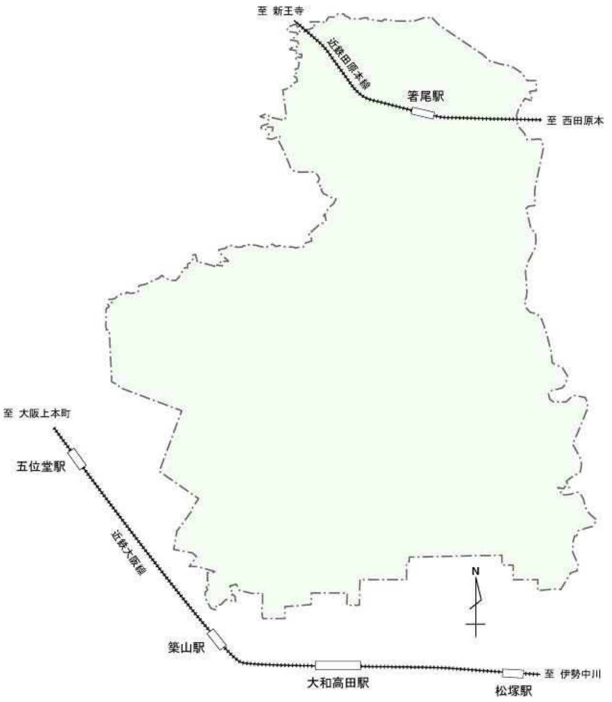
（１）鉄道

北部地域に近鉄田原本線が通っており、町内には箸尾駅の 1 駅が設置されています。

田原本線は上下それぞれ 1 日 64 本の電車が運行され、箸尾～西田原本を 7 分、箸尾～新王寺を 15 分で結んでいます。

箸尾駅周辺を除き、市街地・集落の大半が駅から 1ｋｍ以上離れており、広陵町は鉄道不便地域であるといえます。

図．町内の鉄道



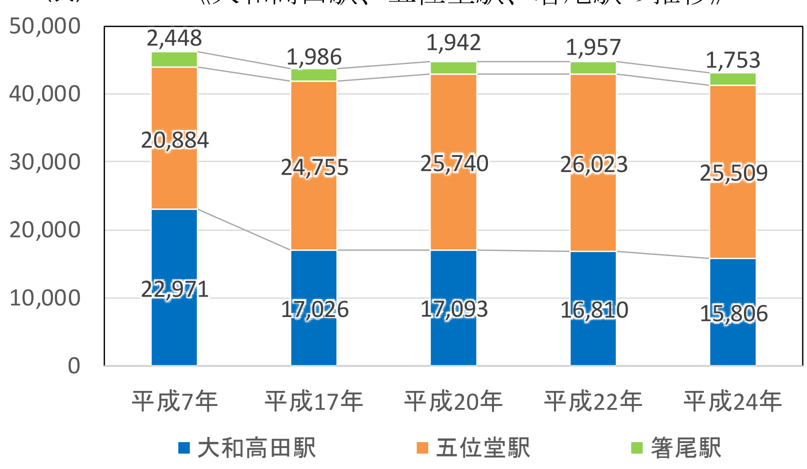
①　乗降客数

鉄道の乗降客数は、町内の箸尾駅で平成 24 年は 1,753 人となっています。その他、町内から町外へのアクセスとして利用の多い五位堂駅と大和高田駅の乗降客数を見てみると、五位堂駅で 25,509 人、大和高田駅で 15,806 人となっています。

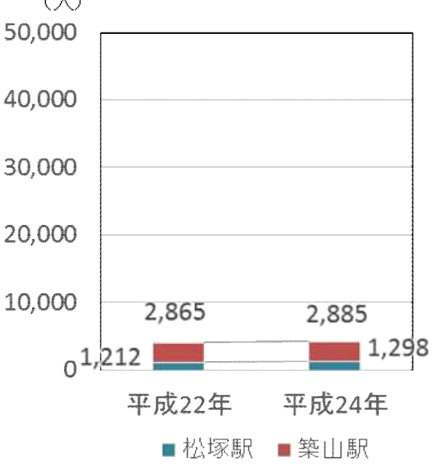
また平成 22 年との比較では、箸尾駅で 204 人、五位堂駅で 514 人、大和高田駅で 1,004 人減少しています。

図．近鉄駅別乗降客の推移

《大和高田駅、五位堂駅、箸尾駅の推移》



《松塚駅、築山駅の推移》



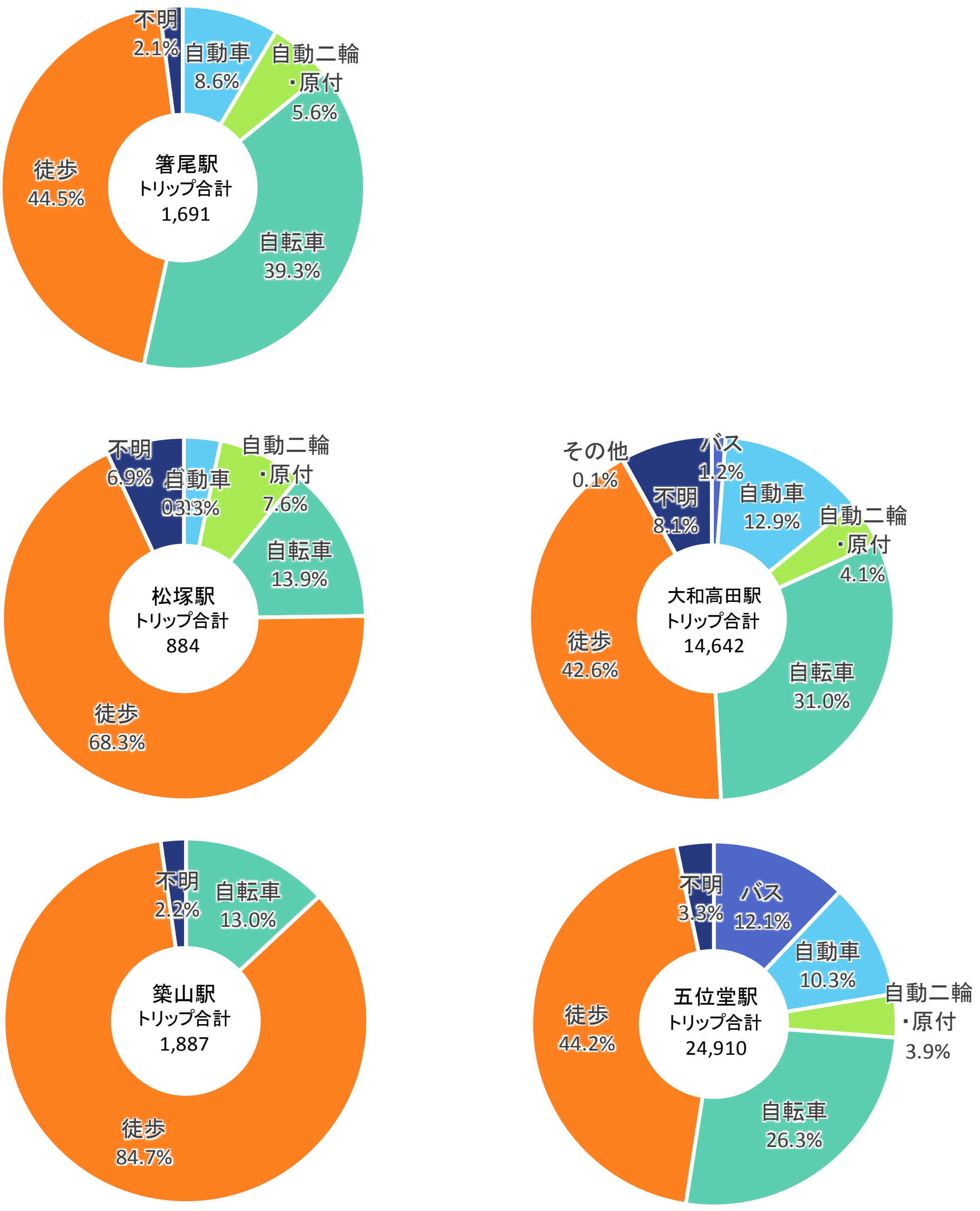
資料：近畿日本鉄道㈱

② 駅端末交通手段

町内箸尾駅での端末交通手段をみると、『徒歩』が 44.5%と最も多く、次いで『自転車』39.3%、『自動車』8.6%となっています。

近隣駅を見ると大和高田駅は、『徒歩』が 42.6%と最も多く、次いで『自転車』31.0%となっています。また五位堂駅では、『徒歩』が 44.2%と最も多く、次いで『自転車』26.3%、『バス』12.1%となっています。松塚駅と築山駅では、『徒歩』『自転車』の割合が高くなっています。

図. 近鉄駅別端末交通手段（平日：乗降合計）



出典：平成 22 年　第 5 回近畿圏パーソントリップ調査

（２）路線バス

広陵町を通るバス路線は主に真美ヶ丘ニュータウンを中心に運行されています。

また五位堂駅や王寺駅、近鉄大和高田駅といった近隣市町へのアクセスとしても運行されています。

図．広陵町内　奈良交通バス路線図

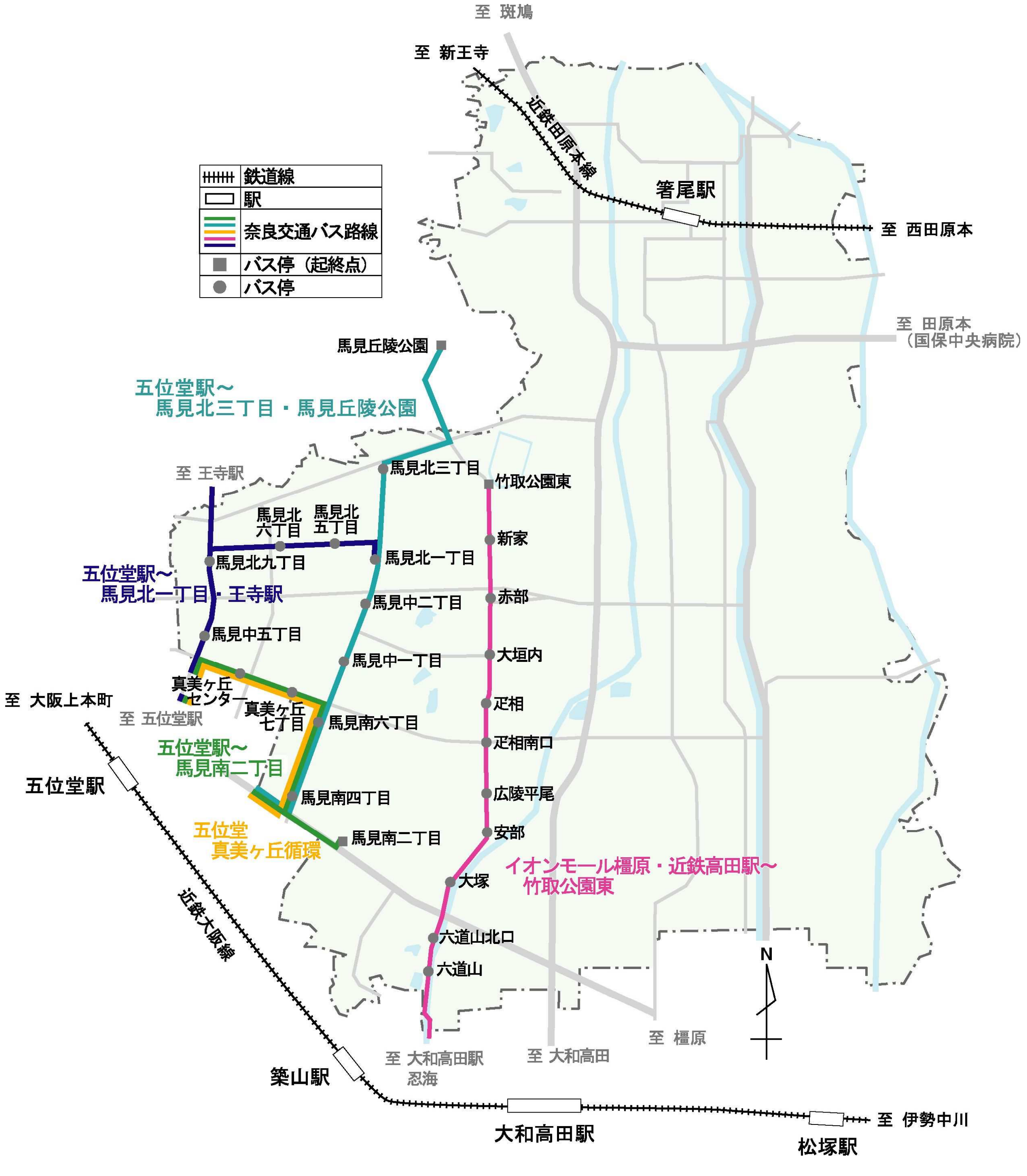


表. 広陵町内　バス路線の状況と運行本数

路線		一日当たり運行本数		
		平日	土曜	日曜祝日
近鉄高田駅～竹取公園東 イオンモール橿原～竹取公園東	竹取公園東行き	19 本	15 本	15 本
	近鉄高田駅方面行き	21 本	20 本	20 本
五位堂駅～王寺駅(上牧町役場経由、アピタ西大和･桜ヶ丘経由)	王寺駅行き	34 本	30 本	27 本
	五位堂駅行き	33 本	29 本	27 本
五位堂駅～馬見北一丁目(馬見北六丁目経由)	馬見北一丁目行き	44 本	39 本	37 本
	五位堂駅行き	43 本	38 本	33 本
五位堂駅～馬見北三丁目･馬見丘陵公園	馬見北三丁目行き･馬見丘陵公園行き	42 本	32 本	30 本
	五位堂駅行き	42 本	34 本	25 本
五位堂駅～馬見南二丁目(真美ヶ丘センター経由)	馬見南二丁目行き	38 本	39 本	36 本
	五位堂駅行き	33 本	40 本	37 本
五位堂駅～馬見南二丁目(真美ヶ丘東小学校経由)	馬見南二丁目行き	4本	－	－
	五位堂駅行き	8本	－	－
五位堂真美ヶ丘循環		10 本	－	－

資料:奈良交通ホームページ(平成 26 年 10 月1日現在)

（３）広陵元気号

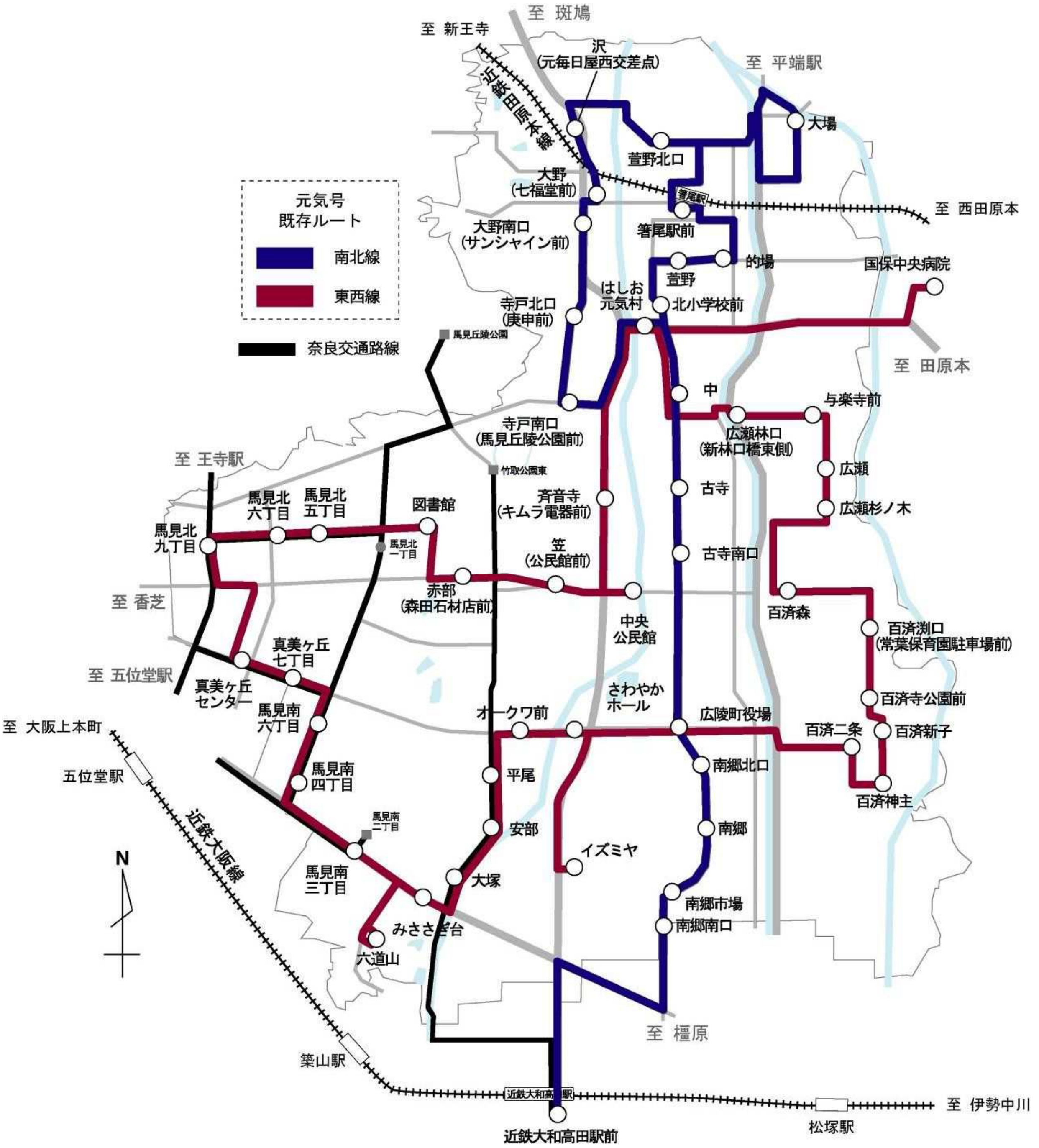
①運行ルート

本町では、路線バスの一部撤退を受けて、平成 21 年４月 16 日よりバス運行休止路線地域を対象に広陵町直営による予約型乗合自動車「広陵元気号」を試行運行しました。

その後、平成 24 年２月に運行方式を定時定路線運行に変更し、更に平成 25 年２月に、運行内容（路線・ダイヤ・車両等）の見直しを行いました。

現在、近鉄大和高田駅前～広陵町役場～大場などを通る南北線、広陵町役場～真美ヶ丘センター～国保中央病院などを通る東西線の２路線で運行しています。

図．広陵元気号 路線図



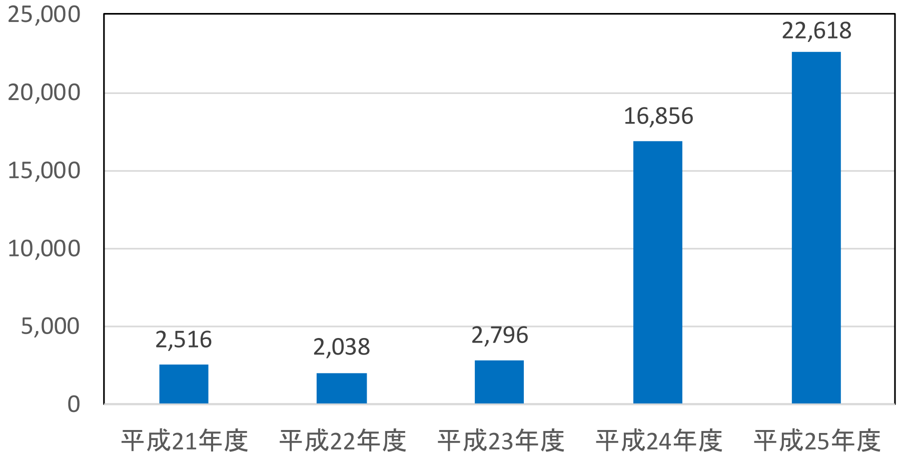
②利用者数

利用者数の推移について、「予約型乗合自動車」での運行から「定時定路線運行」に変更した後は、利用者数が６倍以上に伸びています。また、平成 25 年２月の見直し後の平成 25 年度の利用者数は、平成 24 年度から３割以上増加した 22,618 人となっています。

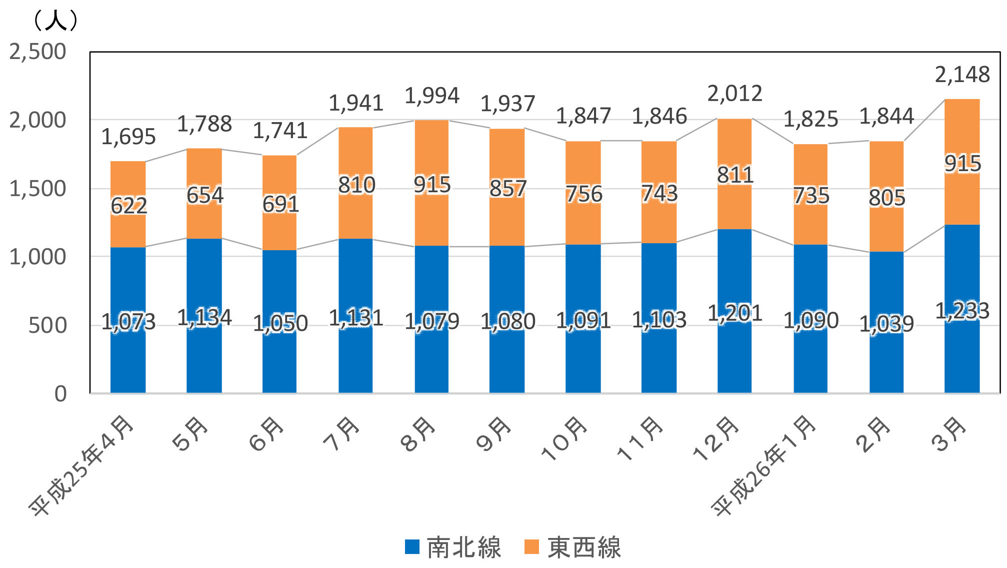
表．広陵元気号の変遷

年度	概要
平成 21 年度	平成 21 年４月 16 日、「予約型乗合自動車」として運行 平成 22 年２月、委託運行に切り替え
平成 22 年度	—
平成 23 年度	平成 24 年２月、運行方式を「定時定路線運行」に変更
平成 24 年度	平成 25 年２月、運行内容（路線・ダイヤ・車両等）を見直し
平成 25 年度	—

図．広陵元気号 利用者数の推移



図．広陵元気号　月別利用者数《平成 25 年度》



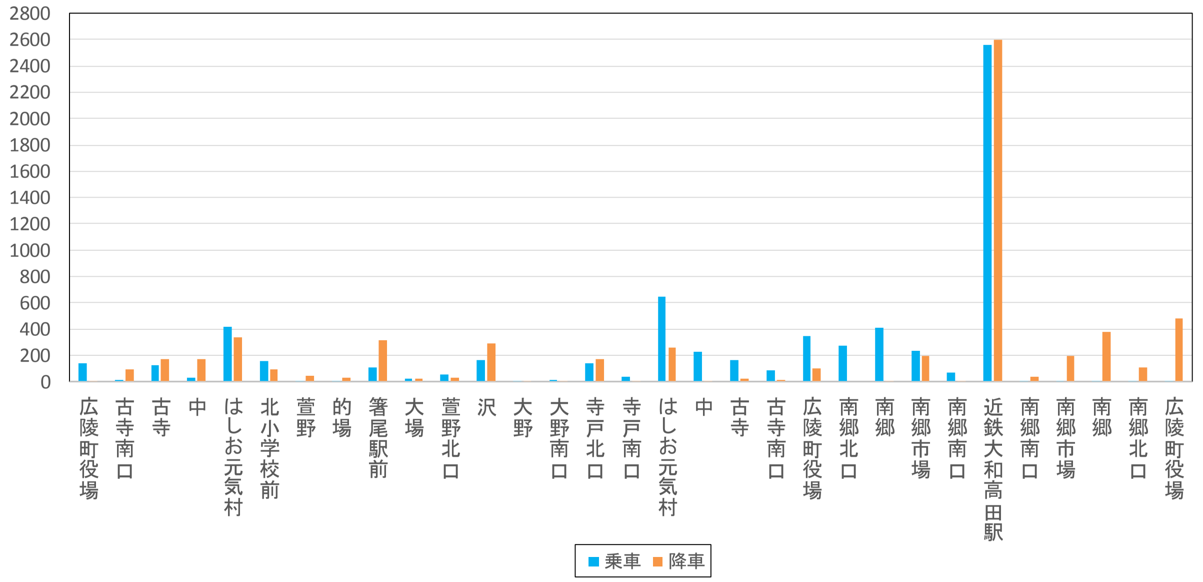
③利用者の特性

表．広陵元気号の路線ごとの特徴

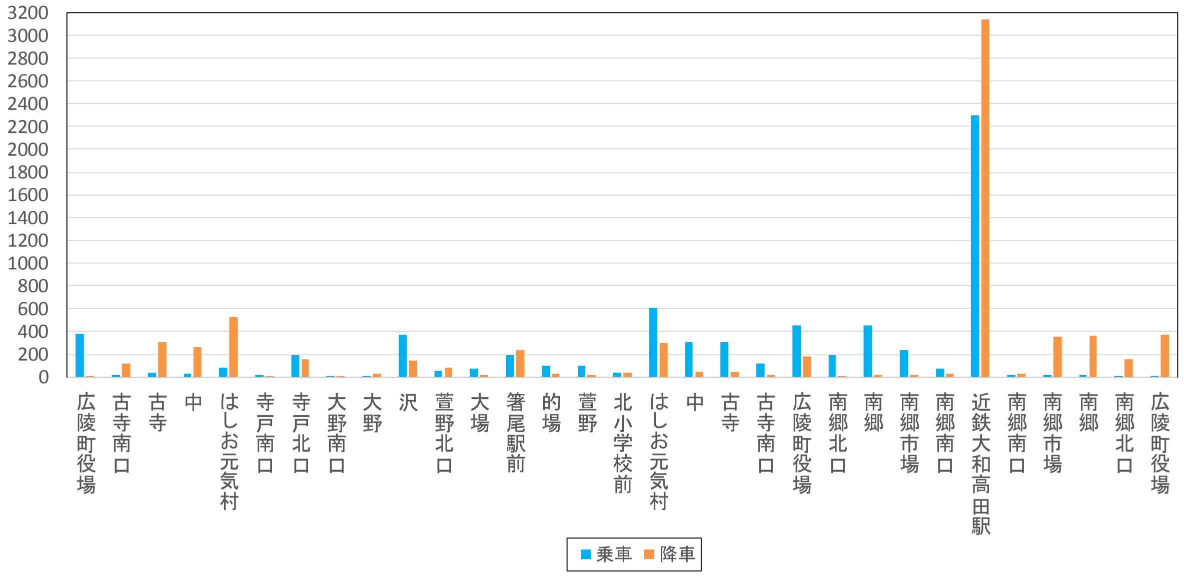
路線	1便あたり日平均利用者数	利用者数の特徴
南北線 （北校区左回り）	5.8 人	・近鉄大和高田駅バス停での利用者が最も多く、町内では、はしお元気村バス停での利用者が最も多い。 ・特に３便の利用者が多い。
南北線 （北校区右回り）	6.4 人	・近鉄大和高田駅バス停での利用者が最も多く、町内では、はしお元気村バス停での利用者が最も多い。 ・他路線に比べて利用者が多く、特に２便の利用者が多い。
東西線 （左回り）	4.3 人	・真美ヶ丘センターバス停での利用者が最も多い。 ・２便の利用者が多く、１便の利用者が少ない。
東西線 （右回り）	4.2 人	・真美ヶ丘センターバス停での利用者が最も多い。 ・２便の利用者が多く、３便の利用者が少ない。

※便平均利用者数は、平成 25 年度

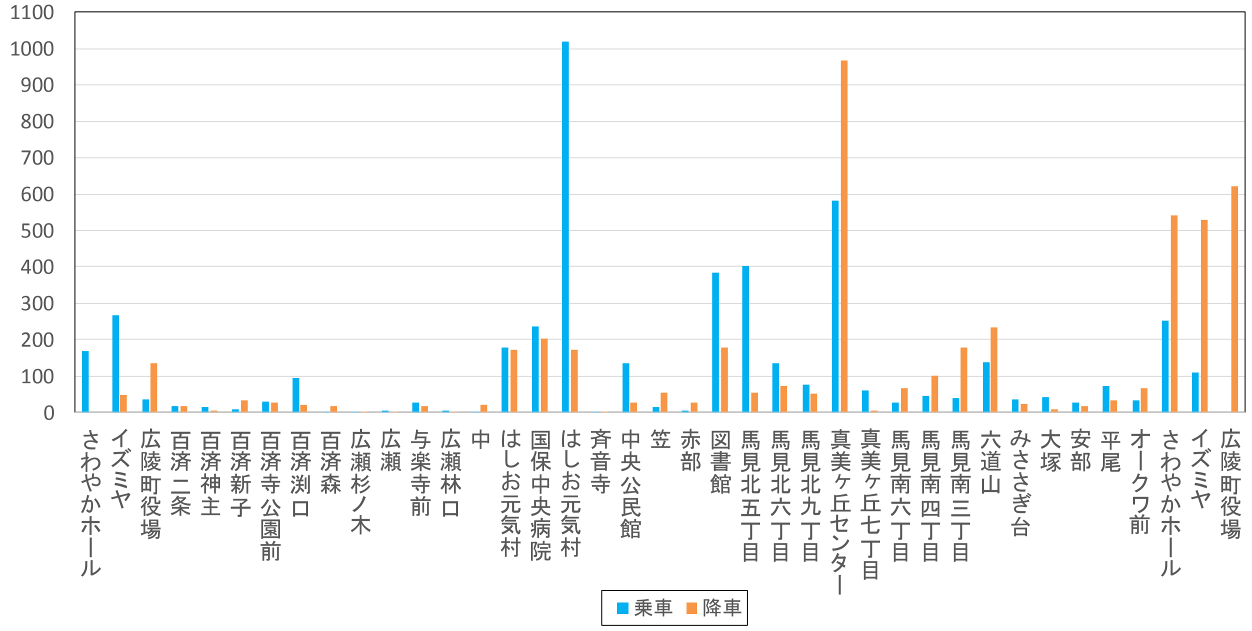
図．広陵元気号　バス停別乗降客数《平成 25 年度》　南北線（北校区左回り）



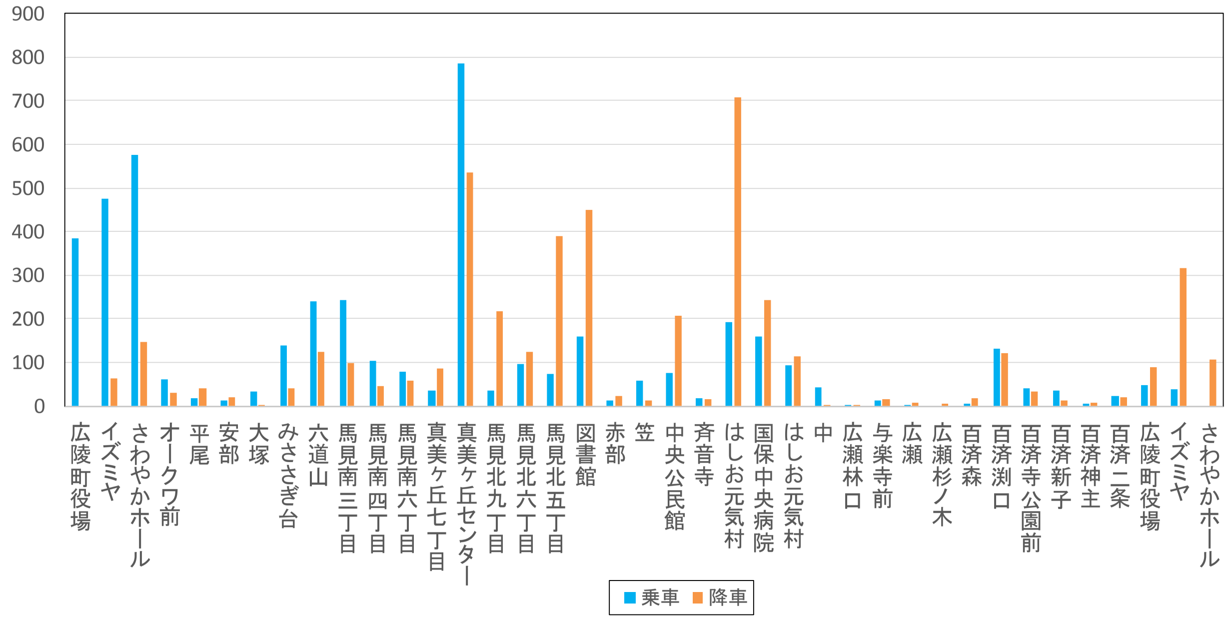
図．広陵元気号　バス停別乗降客数《平成 25 年度》　南北線（北校区右回り）



図．広陵元気号　バス停別乗降客数《平成 25 年度》　東西線（左回り）



図．広陵元気号　バス停別乗降客数《平成 25 年度》　東西線（右回り）



表．広陵元気号　便別乗降客数《平成 25 年度》

路線	南北線						東西線					
行先	北校区左回り			北校区右回り			左回り			右回り		
便	1便	3便	5便	2便	4便	6便	1 便	2 便	3 便	1 便	2 便	3 便
乗車客数・降車客数の合計	3,213	5,182	4,301	5,858	4,681	3,373	1,278	5,062	3,170	2,812	4,952	1,354
年間合計	12,696			13,912			9,510			9,118		

表．広陵元気号の費用負担実績

平成 25 年度実績						
①年間運行経費 ※1	②運賃収入（千円） 無償運行	③＝①－② 年間町負担額	④年間利用者数（人）	⑤＝①÷④ 利用者一人あたり経費（円/人）	⑥町人口（人）	⑦＝③÷⑥ 町民一人あたり負担額（円/人）
18,400,339	0	18,400,339	22,618	814	34,753	529

※1　運行経費：運行委託料、需用費（消耗品費：タイヤチェーン等、燃料費、修繕費：タイヤ及びバッテリー交換）、車両リース代

（４）タクシー事業者

本町は、タクシーの営業区域では西大和交通圏（北葛城郡、磯城郡、香芝市、葛城市）に属しており、圏内に登録されているタクシー事業者は 16 事業者です。

表. 西大和交通圏内タクシー事業者

事業者	所在地	保有台数
株式会社愛和	北葛城郡	5
王寺タクシー株式会社	北葛城郡	19
志都美タクシー株式会社	北葛城郡	5
新大和交通株式会社	北葛城郡	11
西和タクシー有限会社	北葛城郡	9
中和交通株式会社	大和高田市	13
広陵タクシー有限会社	大和高田市	3
株式会社サンキュータクシー	御所市	5
井村輸送株式会社	香芝市	8
株式会社協和交通	香芝市	7
田原本タクシー株式会社	磯城郡	5
西村タクシー有限会社	磯城郡	8
ひまわりタクシー株式会社	磯城郡	21
有限会社富士	磯城郡	8
三宅交通	磯城郡	4
株式会社竜田タクシー	生駒郡	19

資料:一般社団法人 奈良県タクシー協会(平成 26 年 10 月現在)

（５）福祉有償運送事業者

本町で利用できる福祉有償運送事業者は３事業者です。

表. 中和地区福祉有償運送事業者

事業者	所在地	町内会員数
特定非営利活動法人 総合福祉介護支援センターあい・Ｉ	大和高田市	２人
社会福祉法人　鳳雛会	香芝市	３人
社会福祉法人　ひまわり	磯城郡三宅町	９人

資料:中和地区福祉有償運送共同運営協議会(平成 26 年 10 月現在)